



ADRC Highlights

Vol.167

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

1 August 2007

➤ JICA 中央アジア・コーカサス研修フォローアップ事業を開催

アジア防災センター (ADRC) は、国際協力機構 (JICA) から JICA 中央アジア・コーカサス研修フォローアップ事業の委託を受け、2007年6月21~23日、カザフスタン共和国の首都アスタナにおいて、帰国研修員のアクションプラン報告会ワークショップを開催しました。帰国研修員とは、本邦で防災行政について研修を受けて帰国した研修員のことを指し、2004年から実施されているこの研修は、対象7カ国から延べ37名の研修員を輩出しています。

フォローアップ事業のワークショップは、研修員の帰国後の活動状況を確認するために現地で帰国研修員を招集し、帰国後の活動報告・意見交換会を開き研修成果の活用実態を把握するとともに、今後の研修内容の改善に反映すること、当該地域における防災情報ネットワークを確立するために帰国研修員ネットワークを強化すること、さらには、帰国研修員が次期研修員に対して事前研修を行う制度づくりを目的として実施されています。



ワークショップ開催にあたっては、航空便等の不都合で参加できなかった研修員もいましたが、参加者は5カ国、12名となりました。ワークショップでは熱心な意見交換・提案がなされるとともに、本邦研修が如何に個々の国の防災行政の実務に生かされ役立っているかが報告されました。

最終日に講師として招聘した富士常葉大学の小川雄二郎学部長より3日間に渡ったワークショップの総括が行われ、防災教材等の防災資源の共有化、域内での情報共有化、域内情報ネットワークの確立の重要性について再確認されました。ネットワークの確立については、「JICA や ADRC の支援を求めることも有用だが、大切なのは自らでネットワークを維持すること」と強調されました。

今回のワークショップの成果を反映し、今年度の JICA 中央アジア・コーカサス研修が8月20日から実施

されます。

この件についての詳細は、山本主任研究員 (yamamoto@adrc.or.jp) までお問い合わせください。

➤ ADRC 客員研究員レポート □ ヌエツ・ジン・エイ研究員(ミャンマー)

私は、ミャンマー社会福祉・救援・再定住省、救援・再定住局研修・研究課長のヌエツ・ジン・エイと申します。



ミャンマーは東南アジアに位置し、インド洋に面した南北に長い国土を有する国です。ベンガル湾に沿って長い海岸線があり、毎年洪水やサイクロンの被害に見舞われています。また都市火災、地震、地滑りなどの災害も発生します。

2004年のインド洋地震・津波災害では、ミャンマーは他の国々よりも比較的被害が少なかったといえますが、その後、自然災害のすさまじい影響を認識し、ミャンマー政府は効果的な防災・復興対策を講じるため、首相を議長とする国家防災中央委員会を組織しました。国家防災中央委員会は、運営委員会と10の小委員会から構成されており、私が所属する部局は救援・再定住小委員会を担当しています。

社会福祉・救援・再定住省の指揮の下、救援・再定住局は地域・国際協力に積極的に取り組んでいます。ミャンマーはASEAN防災委員会 (ACDM) の2002年設立時からのメンバーで、救援・再定住局はACDMの中核的役割を果たしています。ミャンマーは人的資源開発に努めており、さまざまな能力開発プログラムに政府職員を派遣しています。私はこの度、ADRCの2007年7~12月期の客員研究員に、ミャンマーから初めて選ばれたことをうれしく思います。

日本は多様な自然災害を経験しているにもかかわらず、非常に発展し、すぐれた防災システムを構築しています。私は日本で洪水・暴風対策および防災教育システムについて学ぶ予定です。ミャンマーはADRCの客員研究員プログラムにより、恩恵を被るものと考えています。

ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行：Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 ひと未来館 5F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(262)5540 FAX: 078(262)5546

誌代・送料： 無料 / 毎月2回発行 (予定)